

山形国際ドキュメンタリー映画祭 2013 への スペシャルパートナー企業としての協賛について

スカパーJSAT株式会社(本社:東京都港区、代表取締役執行役員社長:高田真治)は、優れたドキュメンタリー作家の育成を支援するという趣旨に賛同し、2011年よりスペシャルパートナー企業として山形国際ドキュメンタリー映画祭に協賛しています。山形国際ドキュメンタリー映画祭 2013 では、前回に続いての「スカパー！IDEHA賞」の授与に加え、日本映画監督協会との共同イベントの実施や、歴代の小川紳介賞(アジア部門グランプリ)受賞作品5作品を放送するほか、スカパー！の放送事業者による上映イベントを実施します。

◆スカパー！IDEHA賞

山形国際ドキュメンタリー映画祭のスペシャルパートナー企業であるスカパーJSAT株式会社が、ドキュメンタリー映像作家の育成を目的として2011年より設立した賞で、2013年が第2回となります。開催期間中に国際ナショナル・コンペティション、アジア千波万波、日本プログラムの各プログラムで上映される日本映画の監督を対象とし、今後の活躍が期待される日本国内の新進ドキュメンタリー監督に対して贈られ、賞と共に次回制作の奨励金として賞金100万円が授与されます。今年の審査員は、映画監督のヤン・ヨンヒ氏とパオロ・ベルトリン氏に務めていただきます。

【ヤン・ヨンヒ(梁英姫)】



大阪出身のコリアン2世。米国 NY ニュースクール大学大学院メディア・スタディーズ修士号取得。高校教師、劇団活動、ラジオパーソナリティ等を経て、1995年より国内及びアジア各国を取材し報道番組やTVドキュメンタリーを制作。父親を主人公に自身の家族を描いたドキュメンタリー映画「ディア・ピョンヤン」(2005)は、ベルリン映画祭・最優秀アジア映画賞(NETPAC賞)、サンダンス映画祭・審査員特別賞他、各国映画祭で多数受賞し日本と韓国で公開。自身の姪の成長を描いた「愛しきソナ」(2009)は、ベルリン映画祭、カナダ Hot Docs 映画祭他、多くの招待を受け、日本と韓国で公開。脚本・監督した初の劇映画「かぞくのくに」(2012)はベルリン映画祭・アートシアター連盟賞(CICAE賞)他、海外映画祭で多くの賞を受賞。同作は、ブルーリボン賞作品賞、キネマ旬報邦画部門1位、読売文学賞戯曲シナリオ賞等、国内でも多くの賞に輝いた。著書に「兄 かぞくのくに」等。

ココロ動く、未来へ。
スカパー!

ヤン・ヨンヒ監督コメント:

「私は「どこで映画の勉強を？」との問いにはいつも「NYの大学院と山形国際ドキュメンタリー映画祭(YIDFF)で集中的に学びました」と答えています。YIDFFは私の母校です。ジャンルの違う映像作品を撮ろうが、全く別のアートをつくろうが、映像と無関係の仕事をしようが、何歳だろうが、ナニジンだろうが、地球上の様々な暮らしの中の喜怒哀楽に触れる事は大切です。毎日の忙しさに追われながらドンドン偏狭になりがちな私たちの価値観。YIDFFでたくさんの刺激に触れ“社会を見る視力”と“世界を感じる五感”を回復させましょう！」

【パオロ・ベルトリン】



映画祭プログラマー。2008年よりヴェネチア国際映画祭の選考委員に加わり、現在もコンサルタントとして活動。過去にはカンヌ批評家週間、ヴィジョン・デュ・レール(ニヨン)、ウーディネ極東映画祭、ブラティスラヴァ国際映画祭の選考に関わっている。最近ドーハ映画協会のアジア太平洋地域プログラム・アドバイザーに就任した。映画批評家・ジャーナリストとしては、『イル・マニフェスト』『シネフォーラム』『カイエデュシネマ』『ポジティブ』『ザ・コリア・タイムズ』『センスズ・オブ・シネマ』などに執筆。

パオロ・ベルトリン監督コメント:

「初めて山形国際ドキュメンタリー映画祭に参加することに今からワクワクしています。ドキュメンタリー映画に貢献するアジアで最も権威あるイベントとして、きわめて高い評判ばかりが聞こえてくるので、多くの発見と出会いを楽しみにしています。特に、スカパー！IDEHA賞の審査員として招かれたことに有頂天です。審査員の責務は、私が現代の日本ドキュメンタリーの新しい流れや波動を航海するまたとない機会となります。」

・前回受賞作(スカパー！IDEHA賞 2011 受賞作)の放送

前回受賞作「さよならUR」(早川由美子監督)を10月4日(金)にBSスカパー！『スカパー！シネマアワー THE PRIZE ～世界の映画祭から～』枠にて放送します。

◆日本映画監督協会・スカパー！共同イベントの実施および放送

映画祭期間中に日本映画監督協会と共同でトークイベントを開催し、その模様を追ってBSスカパー！で放送します。イベントにはドキュメンタリー映画の監督と劇映画の監督がそれぞれ登壇し、ドキュメンタリー映画が社会に果たす役割などについて熱く議論を交わしていただきます。

【イベントおよび番組名】

日本映画監督協会・スカパー！共同企画

特別対談『ドキュメンタリー映画の地平線』in 山形国際ドキュメンタリー映画祭 2013

【イベント実施日時／会場】

10月14日(月・祝)20:00～22:00 山形グランドホテル2F サンリヴァ(入場無料)



【出演】

パネラー: 原一男(映画監督/日本映画監督協会賞審査委員長)、崔洋一(映画監督/日本映画監督協会理事長)、ヤン・ヨンヒ(映画監督/スカパー! IDEHA 賞審査委員)、入江悠(映画監督/日本映画監督協会賞審査委員) 司会: 辻よしなり (※敬称略)

【番組放送情報】

放送日時: 10月20日(日)20:00~21:00 他(無料放送)

放送チャンネル: BSスカパー! (ch241)/スカチャン5

◆小川紳介賞受賞作品の放送

山形国際ドキュメンタリー映画祭 2003~2011 の小川紳介賞(アジア部門グランプリ)受賞作5作品を無料放送します。

【放送作品】

- ・「雨果(ユイグオ)の休暇」(顧桃(ゲー・タオ)監督/2011年受賞作)
- ・「アメリカ通り」(キム・ドンリョン監督/2009年受賞作)
- ・「長江に生きる 秉愛(ビンアイ)の物語」(馮艶(フォン・イエン)監督/2007年受賞作)
- ・「チーズとうじ虫」(加藤治代監督/2005年受賞作)
- ・「一緒の時」(沙青(シャー・チン) 監督/2003年受賞作)

【番組放送情報】

放送日: 10月8日(火)~11日(金)(無料放送)

放送チャンネル: BSスカパー! (ch241)/スカチャン5

◆スカパー! 放送事業者による上映イベント

映画祭開催期間中にスカパー! プラットフォーム内の放送事業者によるドキュメンタリー作品の上映イベントを実施します。

【上映作品】

10月14日(月・祝) 山形グランドホテル2F サンリヴァ(入場無料)

- ・ナショナル ジオグラフィック チャンネル『氷河消失の記録』上映会
- ・ヒストリーチャンネルTM 『南アフリカの奇跡~民主化への道のり~』上映会
- ・BS日本映画専門チャンネル 小川紳介監督『日本解放戦線 三里塚の夏』上映会 & トークショー
ゲスト: 想田和弘(映画監督)/松江哲明(映画監督) 聞き手: 北小路隆志(映画批評家)

10月15日(火)17:00~ 山形美術館(入場有料)

- ・YIDFF公式プログラム 特別招待作品 小川紳介監督『現認報告書 羽田闘争の記録』(1967)上映会
上映協力: BS日本映画専門チャンネル
ゲスト: 阿部・マーク・ノーネス(ミシガン大学教授)/足立正生(映画監督) 聞き手: 北小路隆志(映画批評家)